

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品の名称 : リバーズワックス
会社名 : 株式会社リバーズジャパン
住所 : 〒956-0812 新潟県新潟市秋葉区中新田 357
電話番号 : 0250-47-6071
FAX 番号 : 0250-24-0181

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性			
爆発物	区分外	引火性液体	区分外
自己反応性化学品	区分外	自然発火性液体	区分外
自己発熱性化学品	区分外	水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	区分外	有機過酸化物	区分外
金属腐食性物質	分類できない		
健康に対する有害性			
急性毒性 (経口)	分類できない	皮膚感受性	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	生殖毒性	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない		
環境に対する有害性			
水生環境有害性 (急性)	分類できない	水生環境有害性 (長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない		

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

一般名：表面仕上げ用樹脂ワックス

成分	含有量	化学式	CAS No.
メタルフリータイプアクリル系コポリマー	14%	社外秘	社外秘
ポリオレフィンワックス	2.5%	社外秘	社外秘
アルカリ可溶性樹脂	1.0%	社外秘	社外秘
可塑剤（非リン系）	1.0%	社外秘	社外秘
融合剤（カルビトール系）	3.0%	社外秘	社外秘
レベリング助剤（フッ素系）	微量	社外秘	社外秘
消泡剤、他	微量	社外秘	社外秘
水	71%	H ₂ O	7732-18-5
(スクロース/K/Ca/Na)発酵液	7%	社外秘	社外秘

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物：情報なし

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：水またはぬるま湯で十分に洗い流す。もし異常があれば医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合：絶対に目をこすらずに 15 分以上流水で目を洗い、医師の診察を受けること（コンタクトレンズを装着している場合は、速やかにはずしてから、同様の処置を行う）。
- 飲み込んだ場合：下痢、腹痛やその他の障害を起こすことがあるので、直ちに多量の水や牛乳を飲ませるなどの応急処置を行い、至急医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：多量の水、二酸化炭素、粉末消火剤、土
- 使ってはならない消火剤：特になし
- 特有の消火方法：ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
- 消火を行う者の保護：空気呼吸器を含め適切な保護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：関係者以外の立入りを禁止する。
：漏洩場所を換気する。
：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ：環境中に放出してはならない。 ：河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。 ：希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。 ：少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、安全な場所に覆って密閉できる空容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<ul style="list-style-type: none"> ：危険でなければ漏れを止める。 ：排水溝、下水溝、地下室あるいは閉塞場所への流入を防ぐ。
二次災害の防止策	<ul style="list-style-type: none"> ：床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> ：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 ：容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ：換気の良い場所で取り扱うこと。 ：眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
接触回避	<ul style="list-style-type: none"> ：「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> ：取扱い後はよく手洗いうがいをする。

保管

技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> ：特別に技術的対策は必要としない。
混触危険物質	<ul style="list-style-type: none"> ：「10. 安定性及び反応性」を参照。
安全な保管条件	<ul style="list-style-type: none"> ：子供の手の届くところには保管しない。 ：水漏れのない屋内で保管する。 ：日光から遮断する。40°C以上の高温にならないようにする。 ：凍結厳禁。
安全な容器包装材料	<ul style="list-style-type: none"> ：包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。例えば、ステンレス、ポリエチレン（HDPE）、ポリプロピレンなどの密閉可能な容器など。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ：換気、通風をしながら使用する。 ：本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具	
呼吸用保護具	<ul style="list-style-type: none"> ：換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具（有機ガス用マスク、アンモニア用マスクなど）を着用すること。
手の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ：必要に応じて耐薬品性の保護手袋を着用すること。

眼の保護具	: 必要に応じて保護眼鏡（普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて保護服、保護長靴、保護前掛けなどを着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: わずかにアンモニア臭を伴う
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 水程度の沸点と推察する。
可燃性	: 情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 8.4±1.0 (25°C)
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水（溶媒）には殆ど無限に分散。
n-オクタノール/水分配係数（log 値）	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 該当しない
その他のデータ	: 比重 1.03±0.01 (25°C) : 粘度 5.0±2.0mPa・s (25°C) : 不揮発分 22±2.0%

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下では反応性は低い。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定であるが、光、熱、酸素の影響により、変色、臭いや粘度の変化が起こる可能性がある。特に開缶後の製品はこれらの可能性が高くなり、性能の低下も状況によっては起きる可能性がある。
危険有害反応可能性	: 通常の条件下では反応性は低い。
避けるべき条件	: 凍結、高温、光、過剰な酸素など
混触危険物質	: 酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触は避ける。
危険有害な分解生成物	: 燃焼などにより CO 等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
----------	--

急性毒性（経皮）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
急性毒性（吸入）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
呼吸器感作性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
皮膚感作性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
発がん性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
生殖毒性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性（急性）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
水生環境有害性（長期間）	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
残留性・分解性	：情報なし
生態蓄積性	：情報なし
土壤中の移動性	：情報なし
オゾン層への有害性	：分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 ：残った本製品及び洗浄作業やはくり作業に伴う廃液は公共用水域（海、河川、
-------	--

- 湖沼、用水路等) やこれらにつながる側溝や周辺土壌には廃棄しないこと。
- : 下水道へ排出する場合は下水道法及び当該自治体の条例に準拠して処理すること。
 - : 浄化槽へ排出する場合は浄化槽管理者に排出可能な廃液の水質、排出量などを確認した上で設備に支障をきたさないように適切に排出すること。
 - : 浄化槽以外の排水処理設備へ排出する場合は排水処理設備管理者に排出可能な廃液の水質、排出量などを確認した上で設備に支障をきたさないように適切に排出すること。
 - : 上記の処理が不可能な場合及び確信が持てない場合は都道府県知事の許可を受けている産業廃棄物処理業者に内容物を明確にした上で適切に処分を委託すること（内容物によっては「特別管理産業廃棄物」になる場合がある）。
- 汚染容器及び包装
- : 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

- 国連番号 : 該当しない
- 国連分類 : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 水漏れ対策を施し、凍結や 40 °C以上の高温にならないように輸送する。容器漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

国内規制

- 陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
- 海上規制情報 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 海洋汚染物質 : 該当しない
- 航空規制情報 : 航空法に定められている運送方法に従う。

1 5. 適用法令

- 化審法 : 該当しない
- 化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない
- 消防法 : 該当しない

1 6. その他の情報

参考文献・引用文献

- ・化審法化学物質改訂第 5 版. 化学工業日報社, 2002
- ・製品安全データシートの作成指針. 日本化学工業協会, 2001
- ・吉川治彦. Q&A で解決 化学品の GHS 対応 SDS をつくる本. 丸善出版, 2019
- ・化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度. 厚生労働省, 平成 30 年 12 月
- ・“GHS 分類結果データベース”. 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) .
- ・“国連 GHS 文書”. 経済産業省.
- ・“GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報”. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト.

記載内容に関する問い合わせ先

会社名 : 株式会社リバースジャパン
 電話番号 : 0250-47-6071
 FAX 番号 : 0250-24-0181

作成年月日及び改訂情報

作成日 : 2010 年 10 月 20 日
 改訂日 : 2023 年 10 月 2 日

内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質 [環境省] (環境ホルモン)	原料として使用しておりません。
室内空気汚染物質濃度指針値対象物質 [厚生労働省] (シックハウス対象物質)	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・テトラデカン・ノナナール・フタル酸ジ-n-ブチル・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル・クロルピリホス・ダイアジノン・フェノカルブは、原料として使用しておりません。
学校環境衛生基準検査対象物質 [文部科学省] (シックスクール対象物質)	ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンは、原料として使用しておりません。
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません。ホルムアルデヒド、クロルピリホス、ユリア樹脂、メラミン樹脂、ユリア・メラミン共縮合樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系の防腐剤、添加剤、助剤は、原料として使用しておりません。
リン系化合物	原料として使用しておりません。

- ・記載内容については、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。
- ・全ての化学品は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は、起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありませんので、取扱いには注意してください。

以上